

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 高山工業高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和4年5月30日(月) 13:15~15:20
- 3 開催場所 高山工業高等学校 会議室
- 4 参加者
委員 桑原 博章 育友会会長
熊崎 秀一 千島町町内会副会長
下垣内たか子 高山市立日枝中学校校長
多田 仁 高山市立花里小学校校長
中野谷 康司 高山市教育委員会 教育長(欠席)
中田 和子 高山商工会議所 女性会会長(欠席)
岡田 明子 飛騨木工連合会理事(欠席)

学校側 秋場 毅 校長
田口 稔 教頭
蒲 正明 事務長
大坪 博孝 教務主任
高橋 佑介 生徒指導主事
山下 泰司 進路指導主事
門前 雅人 工業部長

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 学校の運営方針・学校経営計画・学校運営組織・教育課程について
- (2) 指導の重点と自己評価について

意見1: コミュニケーション能力が未熟な生徒に対してはどのように支援をしているのか。
⇒スクールカウンセラーの活用やスクールソーシャルワーカーも参加したケース会議を行うことを通して生徒の特性を理解し、生徒にも自身の特性が理解できるように働きかけている。また、家庭、医療、外部自立支援団体との連携を通して、生徒理解に努めている。

意見2: 不登校やコミュニケーション能力が未熟な生徒には、高校が楽しい所だ というイメージが持てると、学校生活に対するモチベーションになるのではないか。

意見3: 中学校では高校の学びに対応できるよう、基礎学力向上に努めている。従来の教室のみならず、学習できる場所(オンラインを含めて)で勉強することで学習を保障するよう取り組んでいる。

(3) 新型コロナウイルス感染症予防等に関する意見交換

意見1：コロナの影響に関して、マスクを着用することで、表情を読み取ることなど人とコミュニケーションを図るうえでのデメリットが大きいのではないかと。学校現場ではどう考えているか。

⇒マスクを着用する効果の検証結果も考慮して対応しなければならない。コミュニケーション能力の形成に関係もあると思うが、慣れてくれば工夫もできる。少しずつ、マスクなしで距離をとって活動できるようになるとよい。

意見2：小学校では、マスク着用について、低学年までは保護者から着用が子どもに与える影響を懸念する声が強。一方高学年は、理由はさまざまあるがマスクを外したくないと考える子どもが多い。

意見3：中学校でもマスクを外して良い場面で外せない生徒もいる。

(4) 本校の印象等

意見1：体育館シューズや掃除道具が整理されていることから、日常生活の指導がしっかりされていることがわかり、非常によい。

意見2：授業を参観して、教え合いやグループワークがあったところがよいと感じた。

(5) 本校への要望等

意見1：定員割れが生じている点は残念であり、なんとかしたい。工業高校の良さをもっとPRしてほしい。

意見2：生徒の数が減ると学校運営は難しくなる。新しい設備やその学習環境を地域や中学生に知ってもらえるよう、PRしてほしい。

意見3：コロナでいろいろな行事が縮小される中であっても、少しでも本校の魅力を発信してほしい。

意見4：今年度の新入社員のうち地元からの就職は3名のみ。県外から来てくれるのは大変うれしいが、地場産業として地元の人に支えてほしいという思いがある。地域の学校と連携していきたい。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、委員より今年度の学校運営方針等について承認が得られた。
- ・コミュニケーション能力の未熟な生徒への支援について、委員より理解が得られた。
- ・新型コロナウイルス感染症予防に関するマスクの着用について共通理解が得られた。
- ・魅力ある本校のPRをしてゆく必要性を再認識した。